

第13次千葉県果樹農業振興計画の概要

目標年度 令和12年度

計画期間 令和8年～12年度（今後20年程度を見据えた5年間）

1 果樹農業の振興に関する方針

(1) 生産基盤強化の加速化

ア 生産量の向上に向けた施策の推進

- (ア) 園地の流動化
- (イ) 基盤整備の推進
- (ウ) 省力樹形等への改植・新植
- (エ) スマート農業・機械化の推進
- (オ) 大規模経営体の育成・参入
- (カ) 共同利用施設の整備

イ 安定生産に向けた施策の推進

- (ア) 気候変動等への対応
- (イ) 病害虫・鳥獣被害対策
- (ウ) 花粉・苗木等の確保

ウ 担い手の育成・確保等に向けた施策の推進

- (ア) 多様な担い手の確保
- (イ) 労働力不足への対応

(2) 多様なニーズに対応した流通・販売

ア 流通・販売業者等と連携した消費拡大

イ 国内需要への対応

ウ 海外から稼ぐ力の強化

エ 集出荷・流通体制の整備

オ 経営の多角化

(3) 品目別の振興方針 12品目

日本なし、びわ、かんきつ類、ぶどう、キウイフルーツ、ブルーベリー、いちじく、かき、くり、うめ、すもも、亜熱帯果樹等

2 栽培面積その他果実の生産目標

(1) 品目別生産目標（12品目）

日本なし 1,300ha→1,300ha、びわ 124ha→124ha、温州みかん 78ha→78ha

(2) 主力果樹（日本なし・びわ・温州みかん）の品種構成の改善

気候変動や消費者ニーズ等の変化を見据えた品種への更新

3 栽培に適する自然的条件に関する基準

(1) 栽培する上での気象条件・注意事項

高品質な果実を生産するための栽培適地条件を示す

(2) 高温障害及び対策技術

被害の発生防止のため、高温障害、発生原因及び対策技術の例を示す

4 近代的な果樹園経営の基本的指標

各地域の自然条件や立地条件を生かし、機械の導入等の労働生産性向上に取り組む代表的な経営のモデルを示す

5 果樹農業振興に関する指標

【KGI】 県産果実産出額

(R6) 114 億円→(R12) 120 億円

生産量

(R6) 23,866 トン→(R12) 25,315 トン

栽培面積

(R6) 2,208ha→(R12) 2,216ha

【KPI】

日本なし新植・改植面積

累計 250ha (50ha/年)

省力樹形導入面積

1.5ha/年

日本なし多目的防災網整備率

(R6) 64.6%→(R12) 65.4%

高温対策資機材導入支援件数

累計 50 件

日本なし輸出額

(R5) 4.9 百万円→(R12) 30 百万円

果樹産地構造改革計画策定数

(R6) 12 協議会→(R12) 14 協議会

新規就農者確保・育成体制整備数

(R6) ー→(R12) 3 産地